

7. 構成団体紹介

■ 島原市安中地区まちづくり推進協議会（会長 大町 辰朗）

2013年までは、NPO法人島原普賢会として参加していたが2014年に同会は解散。同年から安中地区の諸団体で構成する「島原市安中地区まちづくり推進協議会」がメンバーとして参加。

島原普賢会は1991年の雲仙・普賢岳噴火災害によって被災した住民が中心になって2000年4月に発足した団体で2000年8月には記録誌「雲仙・普賢岳噴火災害を体験して」を発刊した。

まちづくり推進協議会は、2015年に「防災まちづくり大賞」の中の「総務大臣賞」、「防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞した。

■ 特定非営利活動法人 洞爺にぎわいネットワーク（理事長 福井 政吉）

この団体は、2000年の有珠山噴火災害を契機に2002年5月に発足した団体で、役員のほとんどは被災地となった洞爺湖町の中の洞爺湖温泉町の住民によって構成されている。このネットワークは、洞爺湖町及び周辺地域を対象に住民ネットワークによるまちづくり、ホスピタリティ運動の推進など、地域住民が主体となった地域活性化活動、まちづくり活動を行っている。

■ ネットワーク三宅島（代表 宮下 加奈）火山市民ネット事務局長

三宅島の噴火災害は2005年2月に4年半ぶりに避難指示が解除になった。

この団体は、島の再建と発展のためには島と島外の各種団体との積極的な交流が不可欠なことから、その窓口的な機能を果たすことを目的に同年4月に発足。具体的な活動としては、島の復興状況についての情報発信、噴火災害の伝承、産業や観光発展のための提案、被災地同士の交流、魅力ある島づくりのための総合プロデュースなどを行う。

■ 新燃岳なんつわならんチーム（代表 野間 登志子）

2011年の新燃岳噴火を契機に発足した団体。メンバーは宮崎県都城市西岳地区の有志である。他の被災地の事例などを学び、地区の減災活動の推進などに取り組んでいる。

火山地域の市民団体相互支援ネットワーク

（略称：火山市民ネット）

事務局：一般社団法人減災・復興支援機構

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-12-1-205

TEL：03-5227-6861 e-mail：info@gensai-f.net